

# 京っこ・わらべお泊り～力をあわせて～

3月11日(土) ～ 3月12日(日)

IN うつぐみの郷

	午前	午後	夜
1日目	施設まで移動	棚作り	星空観察
2日目	清掃・野外炊飯	施設を出発・解散	

**一日目：** おはようございます！春の暖かい気温の中、京っこ・わらべのお泊りが始まりました！それぞれの集合場所から京都駅へ集まり、いつも通りグループ分けから活動が進んでいきます。いつもと違うことは、グループのリーダーを皆で選べること！まさに【リーダードラフト】です。毎回のリーダーのアピールを聞き、どのリーダーと活動を進めていくかを決めます。リーダーを選べることにワクワクした様子で、真剣に相談をされておられました。リーダーが決まればいよいよバスに乗り込み、綾部市にある“うつぐみの郷”へ向かいます。施設へ向かう道中では、二日間のご飯のメニューを決めました。夜のお鍋の具材から朝ごはん、お昼ご飯まで皆の意見を織り交ぜながら、意見が分かれた時には説得をしあいながら話を進めることが出来ました。バスの中で顔を見合わせて話し合いが出来ない状況の中、たくさんの意見が出てきたことは、今年度の成果であると感じました。施設に到着すると、目の前には日本家屋の一軒家、走り回れそうなほどの畑や果樹園が広がっています。バスを降り、玄関までの足取りから楽しみな様子が見られました。施設にて昼食を済ませた後は今回のお泊りのメインプログラムである【棚作り】に取り掛かります。その裏で、食材の買い出しにも出かけました。一人一人の力を合わせて一つずつ丁寧に棚を仕上げていきます。ねじを回す人、それを支える人、買い出しに行く人など、二日間を過ごすためにあらゆる場所で力を合わせていただきます。買い出しから戻ってきたメンバーも迎えて、最後の仕上げを行いました。皆で力を合わせたおかげで、今日の目標でもあった土台を作りあげることが出来ました。棚作りの後は、夕飯作りに取り掛かります。本日のメニューは“お鍋”です。バス内で決めた具材を使った具沢山のお鍋が出来上がりそうです。沢山の具材を手分けして切っていきます。沢山あった具材も皆の手にかかればあっという間でした。予定より少し遅れての晩御飯となりました。みんなでお鍋を囲んでいただきます。余程、お腹が減っていたのか、すぐにお鍋を空にされていました。うどんやおもちも加え、お鍋を存分に楽しんだ後は、近くで開催されている『うめ梅祭り』に出掛けました。夜空に打ちあがる打ち上げ花火を皆で見上げ、一日目を締めくくりました。施設に戻り、少しまったりした後は就寝準備を進めます。こんな早くに寝れないよとの声も聞こえていましたが、消灯後すぐに寝息が聞こえてきました。

**二日目：** 綾部の朝はまだまだ冷え込みます。よく眠られていたのか、朝はスッキリ起きておられました。起床後は、布団の片付けから慌ただしく動いていきます。昨日からの成果か、予定していたよりも早く片付けを終えることが出来ました。良い二日目のスタートです。朝ごはんは、パン派とごはん派に分かれて食べました。朝食を済ませた後は、棚作りの後半戦です。棚に思い思いの絵を描き、色を付けていきます。思い切りよく色をつけておられました。カラフルな棚になりそうです。棚作りを中断し、お昼ご飯の準備も進めます。お昼のメニューは“餃子”です。みんなで餡を包みます。誰が上手に包めるかなと和気あいあいと包みました。出来上がった餃子は、様々な形をしていました。餃子が焼き上がるまでは、棚作りの仕上げです。納得のいく棚を作ろうといつもの活動よりも真剣な眼差しを見ることが出来ました。餃子のいい匂いがしてきたら、お昼ご飯の合図です。うつぐみの郷で食べる最後の食事です。みんなで作った餃子はとても美味しく、約



300 個の餃子をペロリとたいらげました。昼食の片付けもお手の物です。昼食の片付けの後は、うつぐみの郷の清掃を行います。場所ごと担当を決め、責任を持って清掃を行いました。二日間の時間はあっという間です。出発の時間が近づいてきました。出発前に棚をセッティングします。皆が作った色とりどりの棚のおかげで、部屋がとても明るくなりました。うつぐみの郷にお別れを告げ、京都駅に向かって出発します。バスの車内では、疲れから眠っておられる方もおられましたが、最後まで楽しそうな話し声も聞こえてきました。京都駅に到着し、全体解散を行いました。「また、来年会うまでに、それぞれの活動で頑張ろう!!」と約束をし、それぞれの解散場所へ向かいました。



### <キャンプ総括>

京っこ・わらべの合同のお泊りにご参加いただきありがとうございました。今年は例年とは場所を変え、“うつぐみの郷”へ向かいました。うつぐみの郷では、様々な体験が出来ます。今回は【力を合わせる事】をねらいとし、二日間を通して【棚作り】を行いました。その裏でごはん作りなど、生活面も取り入れていきました。一緒に生活をすることで、見えてくる面が沢山ありました。一年取り組んで来られたメンバーは、活動の経験値も高く、話し合いも出来るようになってきています。ですが、決断力がもう少し欲しいと感じる瞬間も多くありました。今回の活動では、プログラムごとにリーダーを決めていました。リーダー不在の中、メンバーのみでの話し合いでは、やはり決断に時間がかかってしまいます。いつもの活動ではリーダーが決断を急いでいることもあったと感じました。今後は『決める力』を身に付けていただくためにも、急がずに見守る時間も大切だと気付かせていただいた二日間でした。

(橋本 里佳)